

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	保育内容総論		
担当者(Instructors)	松本 亜香里	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)			
幼稚園、保育所における園生活を総合的に指導・保育する考え方を修得する。具体的な子どもの姿から環境を構成し、実践のための知識・技能を身に付ける。幼稚園や保育所の指導や保育計画の考え方を理解し、子どもの発達過程に則した指導計画作成を理解する。その上で、子どもの関心や興味に応じた具体的な指導・保育の在り方を理解する。			

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業の中で紹介された事例や保育教材をとおして保育内容の理解を深めるために授業内でグループワークを行う。授業を受講した後、課題をとおして振り返る。

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領の「育みたい資質・能力」と、授業概要の説明	幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育・保育要領について説明する。	<input type="checkbox"/>
第2回	育ってほしい10の姿と「保育内容」の関連、そこにみられる子どもの姿を把握	育ってほしい10の姿と保育内容についての意味付けを理解する。	<input type="checkbox"/>
第3回	保育ビデオを使用し、幼稚園・保育所での一日の流れと子どもの姿を把握	保育所の一日を実際に視聴することで保育の理解に繋げる。	<input type="checkbox"/>
第4回	幼稚園教育・保育所保育の指導・保育計画の基本を理解、保育所保育の養護と教育が一体的に展開する保育も理解する	保育所保育にとって、養護と教育が一体的に展開される大切さを学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第5回	長期の指導・保育計画と短期の指導・保育計画との関係性を理解	指導計画の種類を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第6回	短期の指導・保育計画の作成を試みる。子どもの姿を通して作成する手順と配慮点を理解	具体的な短期の指導計画を作成することの意味を知る。	<input type="checkbox"/>
第7回	年間行事の意味を理解し、行事の在り方を理解し、子どもの主体性を尊重する意味も理解	子どもの主体性をどのように育むかを学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第8回	5領域を通して総合的に指導・保育する意味を理解	5領域のねらいと内容を理解し、総合的に指導する意味を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第9回	子どもが遊びを通してどのような経験するのかを事例から理解	子どもの遊びは環境を通して行うことを知る。	<input type="checkbox"/>
第10回	園生活の一場面を考え、5領域のねらいと内容とのつながりを理解し、総合的な援助あり方も理解	保育者の援助の在り方を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第11回	記録の意味と、個と集団の発達を踏まえた指導・保育を習得	子どもの記録を書くことの意義を理解する。	<input type="checkbox"/>
第12回	具体的なテーマから部分指導案を作成し、模擬保育をする。グループで話し合い、自分自身の振り返りから実践に繋げる	部分指導案を作成することでシミュレーションをする。	<input type="checkbox"/>

第13回	12回目の振り返りから指導案を作成し、模擬保育をする。グループで話し合い、ねらいと内容に沿って総合的に指導する力を付ける	指導案を作成することで子どもに身につけたい活動の意図を考える。	<input type="checkbox"/>
第14回	幼児の興味や関心や発達を促す環境を踏まえ、教材の工夫を理解	環境を構成することで子どもの成長を促すことの重要性を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第15回	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の連続性を踏まえた円滑な接続を事例から理解	園での育ちは小学校の学びに繋がっていることを理解する。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として、あらかじめ指定された内容について調べておく（2時間程度）。授業後は、提示された課題をとおして振り返りを行う（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出された課題に対して個々にコメントを記入するか、授業内に口頭にてフィードバックを行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	・ 幼稚園、保育所の園生活全体を通して総合的に指導する考え方を理解することができる。 ・ 環境を構成するなかで具体的な子どもの姿を踏まえ、実践のための知識・技能を体得することができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	・ 保育内容の基本的な考え方を理解し、子どもの発達過程を見通し、保育の過程に繋がった計画が作成出来る。生活や遊びを通して経験からの育ちを理解できる。 ・ 幼稚園教育要領・保育所保育指針の「育みたい資質・能力」、育ってほしい10の姿と「保育内容」の関連を理解できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内で随時確認試験を行う。課題については授業時に提示する（70%）。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	平成29年告示幼稚園教育要領保育所保育指針幼保連携型認定こども園教育・保育要領〈原本〉(株式会社チャイルド本社)	978-4-8054-0258-0
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて授業の中で紹介する	
2		
3		
4		
5		